

ゆざわジオパーク ジオサイト案内書 4



ゆざわジオパークを代表する見どころ、川原毛地獄



たかまつ
高松 (さんずがわ 三途川 ・ かわらげ 川原毛)
ジオサイト06

たかまつ
高松
ジオサイト07

三途川の先に地獄があった。

湯沢市ジオパーク推進協議会

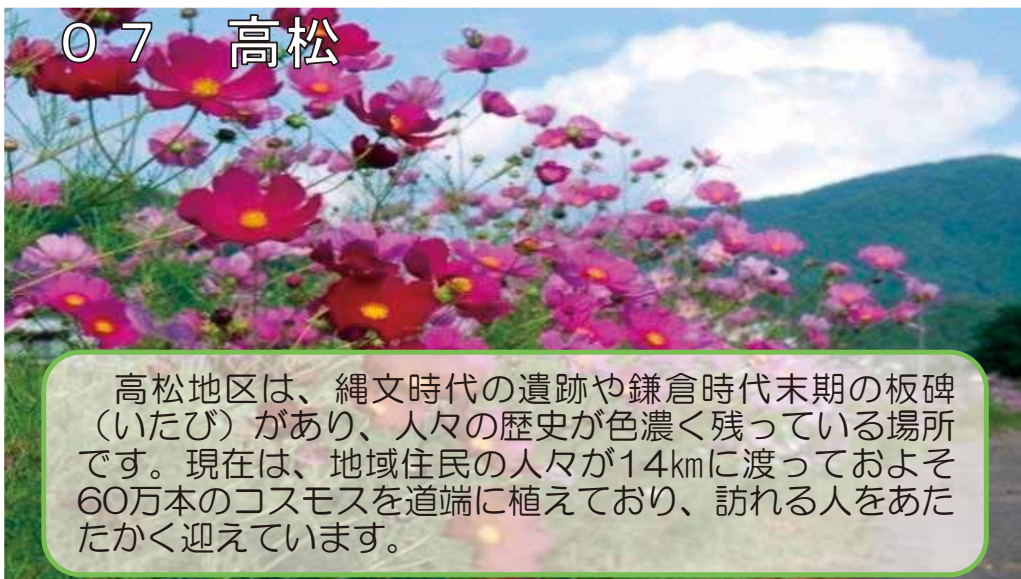
ジオサイト紹介

0.6 高松（三途川・川原毛）



大昔、火山活動によってできた大きな湖がありました。湖は長い年月をかけて土砂や火山灰で埋まって姿を消し、その上に人々が住みはじめました。約26万年前、高松岳の噴火があり、その残存マグマが地下にあります。その為、地熱を利用した施設が数多くあり、その代表が地熱発電所です。

0.7 高松



高松地区は、縄文時代の遺跡や鎌倉時代末期の板碑（いたび）があり、人々の歴史が色濃く残っている場所です。現在は、地域住民の人々が14kmに渡っておよそ60万本のコスモスを道端に植えており、訪れる人をあたたく迎えています。

①三途川溪谷

○湖の誕生



約700万年前に大きな火山活動があり、現在の高松地区や小安地区のあたりに巨大な湖が誕生しました。

長さが20km、幅が10kmあり、仙北市の田沢湖の約8倍の大きさがありました。

○三途川の由来



高松川上流の溪谷は、泥湯沢、桑の沢、湯尻沢の3本の川が合流するため、三津川（さんづかわ）と呼ばれていました。しかし、この先に川原毛地獄があることから、三途川溪谷と呼ばれるようになりました。

○三途川ずい道



高松川は魚が住めず、農業用水として使うことができません。三途川溪谷で合流する湯尻沢（ゆじりさわ）の水が、上流から流れてくる温泉の影響で強い酸性となっているからです。そのため高松地区では、かんがい用水を得るのに苦労していましたが、昭和28年（1953年）にずい道が完成し、真水が流れるようになりました。

○三途川、橋の歴史



昭和10年頃の橋

三途川溪谷は、名前のとおり険しい谷です。明治以前は、川を渡るために崖を下り、丸太橋を渡って反対側の崖を登らなければなりませんでした。

明治に入り、崖に「コの字」型の道が造られ、昭和に入ってから木製の橋、吊り橋、アーチ型鉄橋と架け替えられました。現在の橋は平成5年（1993年）に造られたものです。

きじやまこうげん こしょうぐん
②木地山高原と湖沼群

かぶとやま
○兜山（669m）



兜山周辺には、約100万年前の火山活動の際の火砕流堆積物が広く分布しています。兜山の南東側は急な崖になっており、垂直な柱状の岩石（柱状節理）で出来てます。

こけ ぬま
○苔沼



丘の上からの眺め

日本最小のトンボ
（ハッチョウトンボ）

標高580mの高原にあり、水深1～5mの浅い沼で、ミズゴケなどに覆われています。高層性ミズゴケ湿原は、沼の移り変わりを考える上で大変貴重で、昭和43年（1968年）に県の天然記念物に指定されました。

けたくらぬま
○析倉沼



この沼は木地山高原の中で最大の沼です。

苔沼も含め、この辺りの湖沼群は大規模な地すべりでできたと考えられています。

一番深いところで8mあり、小安方面のかんがい用水として使われています。

かわらげじごく

③川原毛地獄、地熱発電所

○川原毛地獄



かわらげだいぼさつぞう

○川原毛大菩薩像



かわらげおおゆたき

○川原毛大湯滝

菅江真澄が描いた大湯滝
(秋田県立博物館蔵写本)

うえ たいちねつはつでんしょ

○上の岱地熱発電所



この一帯の岩石は、火山活動により出来ました。その後、火山性ガスで、白くてもろい岩石に変わり、草木の生えないまさに地獄のような景観が広がっています。

今でもガスが噴き出しているの
で、見学の際は、十分に注意する
必要があります。

今から1200年程前、月窓和尚
がこの場所で、悟りを開きお寺を
建立しました。その後、慈覚大師
が訪れて、この地を南部の恐山、
越中の立山と並ぶ日本三大霊地に
しました。現在、このお寺のあつ
た場所に川原毛大菩薩は建てられ
ています。

大菩薩のある駐車場から15
分程歩くと、落差20m程の滝
があります。

この滝は、温泉が流れ落ち
る日本でも珍しい滝です。

夏場は、水温が30度位で、
滝壺を湯船として水着を着て
楽しむことができます。

この発電所は泥湯温泉手前
の山の中にあります。地下に
ある高温の蒸気を取り出して
28,800kwの発電をしています。
発電後は取り出した蒸気
を熱水にしてから地下に戻し
ています。

①板碑街道とコスモス街道

○宇留院内の板碑と旧街道



板碑のある場所

古代の街道

宇留院内の板碑2基は、集落内を通る旧街道と、県道307号の間にある古代の街道の脇の石垣に囲まれた場所にあります。



○香積寺板碑



香積寺は室町中期の頃、大検内（おおひない）に草庵を建て、三梨村の桂蘭寺英徹（けいおんじえいてつ）を迎えて開創されました。

この板碑は、香積寺の境内にあります。表面が風化し、建てられた年号が判読不能になっています。稲庭から雄勝に向かう旧街道沿いにあり、歴史を感じさせる立派な石碑です。

○高松長蓮寺板碑



高松長蓮寺板碑は、上地集落の墓地の中にあります。

1322年と1327年の鎌倉時代の末期のものです。

○コスモス街道



高松地区にバイパス道路が完成したのを機に、昭和62年（1987年）、この地を訪れる人を花で迎える「コスモスライン」運動が企画されました。それ以降、地域の人々によって毎年たくさんのコスモスが植えられています。

②湯沢市郷土学習資料展示施設(ジオスタ☆ゆざわ)



高松小学校は、平成 23 年(2011 年)度に廃校となり平成 24 年(2012 年)度より教室の一部を利用して化石類の展示資料室ができました。平成 28 年(2016 年)には、民俗資料室や埋蔵文化財資料室、地熱温泉資料室、湯沢の鉱山と石材資料室などが増設され、ゆざわジオパークの全体像がわかるようになりました。



湯沢の大地の歴史室



押切伸三途川化石資料室



民俗資料室

ちょうれんじ いせき

③長蓮寺遺跡 (旧高松小学校)



長蓮寺遺跡は縄文時代後期から晩期を中心とする集落跡で、葬送や祭祀が行われたとされる環状列石などが見つかっています。遺構の一部は復元されています。

湯沢市郷土学習資料展示施設一帯を範囲としています。

くら かけ じん じゃ

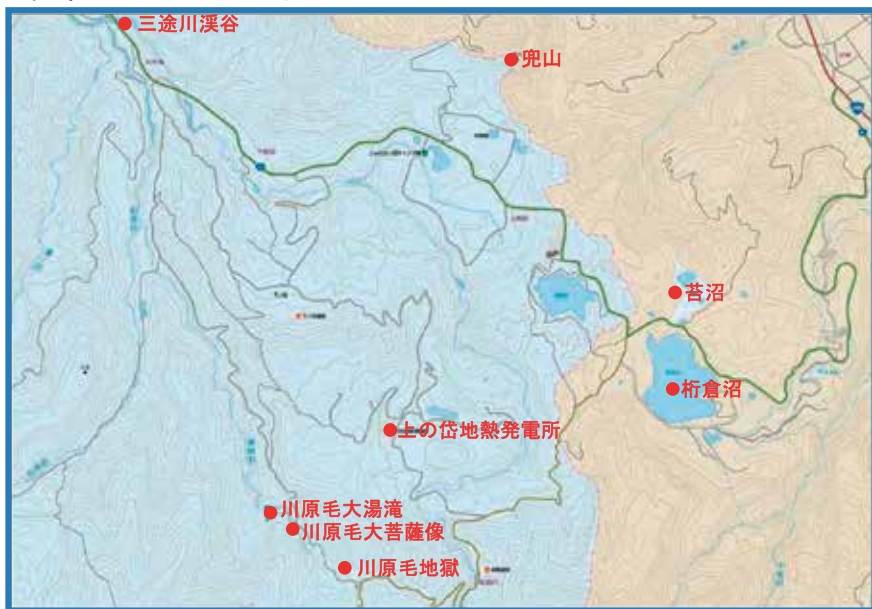
④鞍掛神社



鞍掛神社は、宇留倉（うるくら）トンネルの手前にあります。県道脇の鳥居から参道を歩いて10分程で神社に着きます。神社の裏側には、虎毛山（とらげやま）の火山活動で造られた巨岩が幾つか見られます。

案内図

高松(三途川・川原毛) ジオサイト06



高松 ジオサイト07

